学校番号	3005

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語演習	2	３年	SET THE GOAL【私大対策準備】（数研出版）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 英語演習では、さまざまな話題を扱った英文を通し、入試等で問われる思考力や判断力を養成します。各章ごとに設定している文法項目や表現、リスニングの練習を通じて、より高い英語運用能力を身につけます。
② 英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるかということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習していきます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと聞き取ることにより、外国の文化・風習などなじみのないことについても、その概要を理解することができる。 ・教科書の英文を聞き、その概要を理解できる。 ・英語による他者の発表の概要を理解できる。	・300 語程度の英文を、複雑な箇所も時間をかけて読むことにより全体の要旨を理解することができる。 ・英検準2級から2級レベルまでの英文を読み、概要を理解できる。 ・辞書を適宜使いながらも、自分で文章の概要を理解する。	・まとまった内容で話すことができる。 ・ある程度のまとまった英文で、外国の文化・風習など、なじみのない事柄について意見交換ができる。 ・英語らしい発音でまとまった内容を話すことができる。	・自分が選んだテーマについてまとまった内容で意見を述べ、自分の考えを他者に伝えることができる。 ・教科書の英文を用いて自分の気持ちを表現することができる。 ・英語らしいリズムでまとまった内容を話すことができる。	・旅行などの自分の行動について、物事の順を追って筋道を立て、文章をいくつかの段落で書くことができる。 ・70 語程度の英文を書くことができる。 ・基礎的な文法と構文を使うことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	UNIT01 UNIT02 UNIT03	聞くこと	a: インタビューや飛行機内での会話を聞き、疑問文やつながる音、会話表現の聞き取りの方法を理解している。 b: インタビューや飛行機内での会話で話された内容の情報や概要を聞き取ることができる。 c: インタビューや飛行機内での会話で話された内容の情報や概要を主体的・自律的に聞こうとしている。	リスニング課題
		読むこと	a: 情報の比較や書評、記号についての説明文に関する英文を読んで、文と文のつながりについて理解している。 b: 情報の比較や書評、記号についての説明文に関する英文を読んで、情報や概要を読み取ることができる。 c: 情報の比較や書評、記号についての説明文に関する英文を読んで、書き手の意図などを念頭に、主体的･自律的に英文を読もうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 動作の描写や状況の描写をする方法を理解している。 b: イラストを見て、人物の動作や状況を多様な語句や文を用いて詳しく話して伝え合うことができる。 c: イラストを見て、人物の動作や状況を多様な語句や文を用い、英語らしいリズムで主体的・自律的に伝え合おうとしている。	音声課題
		話すこと （発表）	a: 動作の描写や状況の描写をする方法を理解している。 b: イラストを見て、人物の動作や状況を多様な語句や文を用いて詳しく話して伝えることができる。 c: イラストを見て、人物の動作や状況を多様な語句や文を用い、英語らしいリズムで主体的・自律的に発表しようとしている。	スピーキング
		書くこと	a: 句読点、意味のまとまり、時間的順序、つなぎの語句の働きなどの用法について理解している。 b: 時間の使い方や経験した悩みについて多様な語句や文を用いて書いている。 c: 時間の使い方や経験した悩みについて多様な語句や文を用いて読み手に配慮しながら主体的・自律的に書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	UNIT04 UNIT05 UNIT06 UNIT07	聞くこと	a: 映画の CM や留守番電話のメッセージに関するさまざまな英文を聞き取り，場面や状況に応じた音声の聞き取りの方法を理解している。 b: 映画の CM や留守番電話のメッセージで話された内容の情報・概要・要点を聞き取ることができる。 c: 映画の CM や留守番電話のメッセージで話された内容の情報・概要・要点を主体的・自律的に聞こうとしている。	リスニング課題 リスニングテスト
		読むこと	a: 移民問題、笑いのメカニズム、キング牧師、ホームレス問題に関する英文を読んで情報や概要、文章全体の展開などを理解している。 b: 移民問題、笑いのメカニズム、キング牧師、ホームレス問題に関する英文を読んで情報や概要、文章全体の展開を読み取ることができる。 c: 移民問題、笑いのメカニズム、キング牧師、ホームレス問題に関する英文について情報や概要、文章全体の展開を主体的･自律的に読もうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: スケジュールや地図上の位置を表現する方法について理解している。 b: 予定や地図上の位置を多様な語句や文を用いて詳しく話して伝え合うことができる。 c: 予定や地図上の位置を多様な語句や文を用いて主体的・自律的に英語らしいリズムで伝え合おうとしている。	音声課題 プレゼンテーション

		話すこと （発表）	a: スケジュールや地図上の位置を表現する方法について理解している。 b: 予定や地図上の位置を多様な語句や文を用いて詳しく話して伝えることができる。 c: 予定や地図上の位置を多様な語句や文を用いて主体的・自律的に英語らしいリズムで発表しようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: 主題文と支持文の理解や未知語の意味を推測する方法について理解している。 b: 街の美化について多様な語句や文を用いて書いている。 c: 街の美化について多様な語句や文を用いて読み手に配慮しながら主体的・自律的に書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	期末考査			
後期	UNIT08 UNIT09 UNIT10 UNIT11	聞くこと	a: 動物園のテレフォンサービスや各国の労働時間の比較に関する調査結果を聞きとり、場面や状況に応じた音声の聞き取りの方法などの知識を活用することができる b: 動物園のテレフォンサービスや各国の労働時間の比較に関する調査結果を聞いて、必要な情報や概要、要点、詳細、話の展開や話し手の意図を聞き取ることができる。 c: 動物園のテレフォンサービスや各国の労働時間の比較に関する調査結果を聞く際に、話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に聞こうとしている。	リスニング課題
		読むこと	a: 結婚の国際比較、紙、ウミガメ、言語を題材にした英文の文章全体の展開を理解している。 b: 結婚の国際比較、紙、ウミガメ、言語を題材にした英文を読んで、必要な情報や概要、要点、詳細、話の展開や話し手の意図を読み取ることができる。 c: 結婚の国際比較、紙、ウミガメ、言語を題材にした英文を読む際に、書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に読もうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと (やり取り)	a: 動作の描写や場面展開の描写をする方法を理解している。 b: イラストを見て、人物の動作や場面展開を多様な語句や文を用いて話して伝え合うことができる。 c: イラストを見て、人物の動作や場面展開を多様な語句や文を用いて主体的・自律的に英語で伝え合おうとしている。	音声課題
		話すこと （発表）	a: 動作の描写や場面展開の描写をする方法を理解している。 b: イラストを見て、人物の動作や場面展開を多様な語句や文を用いて話して伝えることができる。 c: イラストを見て、人物の動作や場面展開を多様な語句や文を用いて主体的・自律的に英語で発表しようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: 句読点、意味のまとまり、時間的順序、つなぎの語句の働きなどの用法について理解している。 b: 子どもが動物を飼うことへの意見やテレビを見ることのルールについて多様な語句や文を用いて書いている。 c: 子どもが動物を飼うことへの意見やテレビを見ることのルールについて多様な語句や文を用いて読み手に配慮しながら主体的・自律的に書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	UNIT12 UNIT13 UNIT14 UNIT15	聞くこと	a: コンサート会場での会話やクイズ問題などに関する英文を聞く際に、場面や状況に応じた音声の聞き取りの方法などの知識を活用することができる b: コンサート会場での会話やクイズ問題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、詳細、話の展開や話し手の意図を聞き取ることができる。 c: コンサート会場での会話やクイズ問題について話された内容を聞く際に、話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に聞こうとしている。	リスニング課題

		読むこと	a: 高齢者、ラブマップ、若年の聴覚障害、嘘に関する題材について文章全体の展開を理解している。 b: 高齢者、ラブマップ、若年の聴覚障害、嘘に関する題材の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、詳細、話の展開や話し手の意図を読み取ることができる。 c: 高齢者、ラブマップ、若年の聴覚障害、嘘に関する題材の英文を読む際に、書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に読もうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 状況の描写や資料を分析して発言をする方法を理解している。 b: イラストやポスターを見て、状況の描写や資料の分析をさまざまな語句や文を用いて詳しく話して伝え合うことができる。 c: イラストやポスターを見て、状況の描写や資料の分析をさまざまな語句や文を用いて主体的・自律的に英語で伝え合おうとしている。	音声課題
		話すこと （発表）	a: 状況の描写や資料を分析して発言をする方法を理解している。 b: イラストやポスターを見て、状況の描写や資料の分析をさまざまな語句や文を用いて詳しく話して伝えることができる。 c: イラストやポスターを見て、状況の描写や資料の分析をさまざまな語句や文を用いて主体的・自律的に英語で発表しようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: 西洋の迷信についての意見や国際交流について書いて伝える際にパラグラフの構造や文章全体の展開などの知識を活用することができる。 b: 西洋の迷信についての意見や国際交流について多様な語句や文を用いて書いている。 c: 西洋の迷信についての意見や国際交流について多様な語句や文を用いて読み手に配慮しながら主体的・自律的に書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度